衛生委員会　議事録

日時	2020年10月22日				18:10		～	18:40
場所	とうざい株式会社　1階事務所							
参加者	○	曲道英治	○	境力	○	小笠原さやか		高木伸也
	○	境恭平	○	三浦千晴	○	杉村直也	○	山道隆
		瀬川絹子		漆澤真紀子				

※氏名の前の「○」は参加、「空欄」は不参加

議題	審議内容
1. 各事業所からの報告	エプソンアトミックス：10月から構内全面禁煙となりました。 特に各事業所で事故やケガ等の報告はありませんが、10月になり寒い日が多くなりました。 コロナウイルス感染防止対策もありインフルエンザの発生は今年はまだほとんどない状況ですが、今年の冬は同時流行も懸念されますので予防接種を受けるようにしましょう。
2. 10月のテーマ 応急手当について（2）	AEDの使い方 AEDは誰でも使用できるようになっています。ガイダンスの指示に従って落ち着いて操作することが大切です。 衣服を取り除きイラストに従って胸にパッドを貼ると解析を行ってくれますので電気ショックが必要だと判断された場合には周囲に人がいないことを確認し、ボタンを押します。その後、胸骨圧迫をすぐに開始します。ポイントは ・肌とすきまがないように貼り、体が濡れていないことを確認すること ・ペースメーカーなどが入っている場合は避けて貼ること ・張り薬や薬剤はとってふき取ってから貼ること　　です。 小児用パットもあり、その場合は体を挟むように胸と背中にパッドを貼ります。 ←これは世界共通で「窒息のサイン」と呼ばれています このポーズをしている人がいたら、119番通報を依頼し、そのあとに傷病者自身に咳をさせ、出来るだけ続けます。それでもダメな場合には腹部突き上げ法・背部叩打法を行い異物の除去を行います。 傷病者に反応がない場合は119番通報後、AEDが近くにある場合は取りに行きすぐに心肺蘇生を行う必要があります。口の中を確認するよりさきに心肺蘇生を行います。 また、小さな子供がいる場合には周りに物を置いたりせずに予防することが重要です。 乳児の場合は頭を下げて背中をたたいたりして取り除くようにします。 反応がないが普段通りの呼吸をしている場合には「回復体位」という体制にして救急隊を待ちます。 左を下にした場合、右手の甲に顔を乗せ下あごを出させて気道を確保して、右ひざを90度曲げて後ろに倒れないようにします。 周りの人に協力を求めて、出来るだけ早く119番通報する・自分にできることを少しでも行って、命を救う行動をする勇気を持つことが重要です。 詳しくは「消防庁　一般市民向け　応急手当」で検索をすると動画も見ることが出来ます。
3. 次回	2020年11月26日（木）、健康診断について行います。 よろしくお願いいたします。

とうざい株式会社

添付資料：応急手当の知識と技術を身につけましょう（参考：消防庁・政府広報オンライン）

承認	審査	担当
曲道	小笠原	恭平

2020年10月25日　作成